

～ 目 次 ～

第1部 決算の概要

1	会計の種類と決算規模	1
2	家計簿に置き換えてみよう	4
3	一般会計の決算	5
	(1) 歳入総額と内訳	6
	(2) 市税の内訳	8
	(3) 地方交付税ってなあに？	9
	(4) 歳出の内訳(性質別経費、目的別経費)	11
4	特別会計の決算	14
5	公営企業会計の決算	18
6	健全化判断比率・資金不足比率	22
	(1) 健全化判断比率	22
	(2) 資金不足比率	22
7	普通会計ってなあに？	23

第2部 決算の分析

1	決算規模の推移	29
2	歳入の分析	30
	(1) 歳入の推移	30
	(2) 市税	31
	市税収入額の推移	31
	市税収入額と収納率の状況	32
	個人市民税	33
	法人市民税	34
	固定資産税	35
	都市計画税	36
(3)	地方交付税と臨時財政対策債	37
	地方交付税と臨時財政対策債の推移	37
	地方交付税と臨時財政対策債の状況	38
(4)	市債	39

3	歳出の分析	40
	(1) 目的別歳出	40
	決算額、構成の推移	40
	民生費の内訳の推移	42
	土木費の内訳の推移	43
	教育費の内訳の推移	44
	衛生費の内訳の推移	45
	(2) 性質別歳出	46
	性質別決算額の推移	46
	義務的経費の推移	48
	市民一人当たりの義務的経費の状況	49
	扶助費の推移	50
	繰出金等の推移	51
	(国民健康保険会計・介護保険会計・後期高齢者医療会計)	
	投資的経費の推移	52
4	財政指標	53
	(1) 市債現在高及び公債費の推移	53
	(2) 将来負担比率及び実質公債費比率の推移	54
	(3) 市民一人当たりの市債現在高、将来負担比率の状況	54
	(4) 財政調整基金及び市債管理基金現在高の推移	55
	(5) 市民一人当たりの財政調整基金及び市債管理基金現在高の状況	55
	(6) 財政力指数の推移・状況	56
5	熊本市の決算分析のまとめ	57
	【資料編】	59
	(1) 平成29年度決算関係	59
	(2) 財政指標関係	64